

報道関係者 各位

令和1年10月25日

第19回〈ゆうゆうの里〉職員実践研究発表会を開催

～日本橋公会堂にて研究発表会を開催～

介護付き有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国7施設運営している日本老人福祉財団が2019年12月6日（金）日本橋公会堂（東京都中央区）にて「第19回〈ゆうゆうの里〉職員実践研究発表会」を開催します。演題発表の後には、招待演題で「みずほ情報総研株式会社」・「明日見らいふ南大沢」の方にお話し頂きます。



【日本橋公会堂】



【表彰式（前回）】

I. 開催概要

日時	2019年12月6日（金）
時間	開場 10:00 開演 10:20~17:00
会場	日本橋公会堂 4階ホール ※詳細は「Ⅱ会場の詳細」を確認下さい
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開会式（挨拶） ・演題発表 5演題×4群 全20演題（1演題7分） ・招待演題・みずほ情報総研 「そっと見守る、最新テクノロジーを活用した未来の姿」 ・明日見らいふ南大沢 「ICFの視点に基づいた「自分でやりたいこと」の実現に向けた支援の検討」 ・閉会式（表彰）
参加費	無料
定員	440名 事前申し込み
参加申込・問い合わせ	申込受付時間：平日9時~18時（土・日・祝日は休み） TEL：0120-70-1165 03-3662-3611 担当者：田中、安藤、富田
主催	一般財団法人 日本老人福祉財団

II. 会場の詳細

電車

東京メトロ

半蔵門線「水天宮前」駅	6番出口 徒歩2分
日比谷線「人形町」駅	A2番出口 徒歩5分
東西線「茅場町」駅	4-a番出口 徒歩10分

都営地下鉄

浅草線「人形町」駅	A5出口 徒歩7分
-----------	-----------

バス

中央区コミュニティバス（江戸バス）

北循環 25「日本橋区民センター」停留所下車0分

※来場の際は、公共交通機関をご利用ください



III. 演題発表について

当財団では、日々の業務の中から課題を見つけ研究活動に取り組んでいます。今回の発表会では、各施設の発表会で選出された演題を発表致します。

介護部門だけでなく、事務、食事、診療所（同法人併設）の各部門から演題発表があります。発表の形式として群ごとに座長を設け、各演題に対して座長からコメントを頂きます。

座長

- ・ 岸田宏司氏（和洋女子大学 学長）
- ・ 田島誠一氏（合同会社 TKT 福祉経営研究所 代表）
- ・ 長沼建一郎氏（法政大学 社会学部 教授）
- ・ 山下興一郎氏（淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科准教授）

IV. 招待演題について

- 演題：「そっと見守る、最新テクノロジーを活用した未来の姿」

発表者：みずほ情報総研 事業戦略部 PoB室 渥美 智之氏

近年、AIやビッグデータ、IoT、ロボティクスなどのキーワードが世の中を賑わせています。こうした中、私達は「高齢者の健康寿命延伸」をテーマに掲げ、これらの最新テクノロジーを活用することで、高齢者本人やそのご家族、そして高齢者施設の皆さんが笑顔で安心して暮らせる世の中を実現すべく、検討を進めてきました。今回は、湯河原〈ゆうゆうの里〉で取り組んだ様子を紹介いたします。

- 演題：「ICFの視点に基づいた「自分でやりたいこと」の実現に向けた支援の検討」

発表者：明日見らいふ南大沢 居室サービス課 白岩 藤香 氏

明日見らいふ南大沢は、日本老人福祉財団の姉妹法人である（社福）聖隷福祉事業団が運営業務受託している（事業主体：東京都住宅供給公社）。施設内発表会最優秀演題。

国際生活機能分類（ICF）の視点からICF整理チャートを使用し情報を分析。個人因子に着目してアセスメントを行い、本人らしい生活の実現を目指した研究。

V. 日本老人福祉財団の概要

財団名：一般財団法人 日本老人福祉財団

理事長：青木 雅人

設立：1973（S48）年

事業：介護付き有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国7か所（佐倉、湯河原、伊豆高原、浜松、京都、大阪、神戸）で運営。

特徴：1973年に設立。有料老人ホーム運営事業者の中では歴史が長い団体。自立の状態に入居して頂き、最期の時まで暮らせる住まい（終の棲家）を提供。1施設あたり平均300戸を超える大型施設の「高齢者コミュニティ」を展開している。

H P： <https://jscwo.jp/>

VI. 本リリース・取材に関する問い合わせ先

日本老人福祉財団 本部 調査企画室 兼 サービス支援部 富田

T E L：03-3662-3611

E-mail：tomita-ak@yuyunosato.or.jp